

# うだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある  
地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。  
このコーナーでは、市が「取り組む  
「まちづくり」や NPO 団体などを紹介します。  
市民協働課 ☎82・2130/IP ☎88・9085

## 1 夏本番！

### 夏まつり開催！

「おおうだ南部地域まち協」  
当まち協では「集う」「楽しむ」「つ  
ながる」などのテーマを掲げて、活  
動をしています。今回は、7月21日  
(月)に宮奥ダム水辺公園で「南部ふ  
れあいデー2025」を開催しまし  
た。午前中は、各地域で環境美化の  
清掃活動をして、その後に公園に集  
い、楽しい昼食会・交流会を行いま  
した。今年も暑い日が続いています  
が、ダム周辺を吹き抜ける風に涼し



▲暑さを吹き飛ばそう！

さを感じて、皆さんは楽しいひと時  
を過ごしていました。イベントでは、  
猛暑を吹き飛ばす、勢いのある和太  
鼓の演奏や、若い人たちが中心となっ  
て司会進行を務めた楽しいビンゴ  
ゲーム、歌自慢のカラオケ大会も開  
催され、大いに盛り上がりました。

### 大宇陀政始まち協

7月26日(土)旧守道小学校運動  
場で「多世代交流会・夏まつり」を  
開催しました。まだまだ暑さが残る  
午後5時からの開始となりました。  
ワクワク楽しい盆踊り、みんな輪に  
なつて、多世代が一緒に踊ります。  
今年も奈良躍遊会の皆さんに、音頭



▲祭りの様子

そして演奏に参加していただきまし  
た。会場では、おもてなしとして、  
焼きそば、バーベキュー、綿菓子、  
かき氷、そして、飲み物などが振る  
舞われ、子ども会では、当てもの、  
カラーボールすくいなども開催しま  
した。サプライズとして上げられた  
本格的な打ち上げ花火と仕掛け花火  
が守道の夜空を彩りました。350  
人を超える方々に参加していただ  
き、地域のイベントとして定着した  
多世代交流会・夏まつり、これから  
もこのつながりを大切に活動してい  
きます。

## 2 イベントに出店

### 榛原地域各まち協

7月31日(木)、まちづくり活動

応援補助金により開催された「榛原  
きずな広場まつり(主催…榛原きず  
な広場実行委員会)」のブースに、榛  
原地域の各まち協(榛原地区、東榛  
原、大王地区、伊那佐地区、内牧地区)  
がそれぞれ出店しました。



▲どこに行こうかな？

各まち協は、定期的に連絡会を開  
催し、情報交換等を行い、お互いの  
活動の参考としており、榛原地域の  
にぎわいづくりを創出したいという  
主催者の趣旨に賛同し、出店しまし  
た。各まち協は、日頃は各地域内  
の活動を主としているため、今回の  
ようなイベントに対して不安を抱い  
ていましたが、当日は趣向を凝らし  
た物販を行い、多くの方にお越し  
いただき、不安は杞憂に終わりました。  
地域の活性化のためには、各まち

協の枠を超えた活動を今後も取り組  
んでいく必要があると感じました。



▲出店の様子

## 3 七夕会

### 三本松まち協

7月7日(月)室生三本松中村地

区にある「子安さん」と住民に親しま  
れる「安産寺」で、今年も室生こども  
園と保護者の皆さんを迎えた地域交流  
事業の「七夕会」を実施しました。  
はじめに、園児たちがお地蔵さま  
にお参りをしてから、住民の方より  
「三本松に流れ着いたお地蔵さま」の  
物語を紙芝居で聞きました。  
その後は、笹飾りの短冊に願い事  
を書き、大人に手伝ってもらいな  
がら枝にくくりつけて笹飾りを完成さ  
せました。  
その後も、近鉄電車を近くで見  
たり、園児たちの歌や元気なダンスで、  
参加者みんなが笑顔で楽しい時間を  
過ごす事が出来ました。



▲願い事は何にする？

最後は、恒例の全員参加の記念写  
真を撮り、事業は無事終了しました。  
近年、園児の数は減少しており、  
地域で子どもたちの元気な声を聴く  
機会も少なくなっていますが、こ  
うした交流事業を通じて、地域のつな



▲楽しくふれあいできました！

がりや活性化につなげていけるよう  
継続していきます。



## 「カキ」

柿の葉を採集したら、急いで加工しま  
しょう。柿の葉には多量のビタミンCが  
含まれていますが、木から葉を採集する  
と、時間とともに急激に減少するので、  
採集後の処理は時間を争うことになるか  
らです。柿の葉を熱湯に2分程度浸して  
酵素を破壊後、手早く広げて、熱を冷ま  
すとともに乾燥しておく、今度は安定  
したビタミンC供給のお茶に変身するの  
です。上手に作れば、ビタミンCの量は  
100g中1200〜1400mgに

もなります。ビタミンC含有量は、レモ  
ンでも100g中90mgなので、いか  
に強い効果が期待できるかが分かります。  
春から今頃までの時期には、ぜひ柿の  
葉茶を作って飲んでほしいのですが、秋  
になって採集した葉では、お茶を作らな  
いでください。秋は葉に含まれるタンニ  
ン量が増加するため、便秘になりやす  
くなるだけでなく、ビタミンCの量が減少  
し、便を軟らかくするビタミンCの作用  
が弱まるからです。



※当市で「薬草活用講演会」をしていたいた  
村上光太郎先生の連載より一部抜粋

薬草道遙(やくそうしょうよう)  
毎回「薬草」に関わる内容を連載でお届けする  
コラムです。

問 商工業課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075